

平成30年度

事業報告書



報告書内容

総括

事業所別報告

- I 法人事務局
- II 特別養護老人ホーム鶴寿園
- III 複合老人ホーム野田市楽寿園
- IV 在宅サービス事業部
- V 障がい者サービス事業部

事業所別利用明細表等

【法人理念】

- ① 入居者様(利用者様)の立場に立った施設
- ② 最善のサービスを提供する施設
- ③ 活力があり経営が健全な施設

【法人基本方針】

- ① 入居者様(利用者様)の目の高さでサービスを提供します。
- ② 安全で質の高いサービスを提供します。
- ③ サービスの内容を入居者様(利用者様)と一緒に考えます。
- ④ 職員同士のコミュニケーションを良くし、いつも研修に努め活力ある施設にするよう努めます。
- ⑤ 安心して利用できるよう安定した経営を目指します。
- ⑥ 地域との連携を密にするよう努めます。

【総括】

事業運営につきましては、法人が掲げる3つの理念・6つの基本方針及び第四期3か年計画に基づき運営しました。

特別養護老人ホーム鶴寿園(従来型)大規模改修については、水光熱費が年間約787万円の削減ができ、今後も一層全体で削減に取り組めます。

介護職員の人材確保は、例年になく厳しい状況となっています。残念ながら新卒採用はいませんでした。ただし、奨学金制度の充実や資格取得及び自己啓発等のための研修に要する費用の規程など職員に対しての待遇の向上を図りました。

福利厚生については、職員間の親睦費用として職員2人から使用できる新たな方法を実施し使いやすくなったことで、今まで参加しなかった職員からも申請が出てくるなど利用の幅が広がり職員間の交流がみられました。今後も職員の働く環境や福利厚生等の向上に取り組んでいきます。

全体的な法人経営については、特別養護老人ホームの修繕費が支払となり資金収支の当期資金支出差額は前年を下回りましたが、今後の経費の削減となり資金の確保に繋がっていきたい。

法人設立20年が経過し、法人の今後の継続的な発展を目指して、平成31年度(令和元年度)から法人理念を『すべての人を幸せに』にすることをしました。これを法人の使命とし、最善のサービスを提供し、地域共生社会の実現に貢献してまいります。

【法人理念】 『すべての人を幸せに』

野田みどり会は、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、職員などすべての人を幸せにすることを法人の使命として、最善のサービスを提供し、地域共生社会の実現に貢献します。

【法人基本方針】

- ① 利用者様の目の高さでサービスを提供します。
- ② 安全で質の高いサービスを提供します。
- ③ サービスの内容を利用者様と一緒に考えます。
- ④ 地域との連携を密にするよう努めます。
- ⑤ 職員同士のコミュニケーションを良くし、いつも研修に努め活力ある法人にするよう努めます。
- ⑥ 安心して利用できるよう安定した経営を目指します。

【事業所別報告】

I 法人事務局

1 理事会・評議員会

(1) 理事会 6 回開催

開催日	議案
平成 30 年 6 月 8 日	平成 29 年度事業報告書について 平成 29 年度決算書について 積立金の積立てについて 評議員会の開催について 評議員選任・解任委員の選任について 野田みどり会共同生活援助事業運営規程の一部改正について 奨学金規程の一部改正について デイサービスセンター鶴寿園送迎車両購入について 平成 30 年度上半期賞与支給総額の決定について
平成 30 年 9 月 25 日	複合老人ホーム野田市楽寿園の指定管理申請について 野田市岩木小学校老人デイサービスセンターの指定管理者申請について
平成 30 年 10 月 30 日	平成 30 年度上半期事業報告について 資格取得及び自己啓発等のための研修に要する費用の補助に関する規程の制定について 職員給与規程の一部改正について 嘱託職員就業規則の一部改正について 非常勤職員就業規則の一部改正について ヘルパー就業規則の一部改正について 特別養護老人ホーム鶴寿園電力事業者の変更について 平成 30 年度下期賞与総額の決定について
平成 30 年 11 月 21 日	複合老人ホーム野田市楽寿園の指定管理者としての申請の一部変更について 野田市岩木小学校老人デイサービスセンターの指定管

	理者としての申請の一部変更について
平成 31 年 2 月 19 日	平成 30 年度資金収支予算補正について(第 1 次) 職員就業規則の一部改正について 法人所有自動車管理規程の一部改正について 自動車管理規程の一部改正について デイサービスセンター鶴寿園運営規程の一部改正について 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター運営規程の一部改正について 評議員会の開催について デイサービスセンター亀野園の事業休止について 職員給与の昇給資金量について
平成 31 年 3 月 19 日	平成 30 年度資金収支予算補正について(第 2 次) 法人理念について 第五期中期経営計画について 職員給与規程の一部改正について 職員就業規則の一部改正について 非常勤職員就業規則の一部改正について 旅費規程の一部改正について 役員等の報酬に関する規程の一部改正について 平成 31 年度事業計画書について 平成 31 年度資金収支予算書について 指定管理者基本協定書の締結について 平成 31 年度指定管理者年度協定書の締結について 平成 31 年度業務委託等の契約締結について 福祉業務システムのリース契約締結について ベットマットレスの購入及びリース契約締結について 理事長辞任について 理事長の互選について 理事長の報酬額の決定について

(2) 評議員会 2 回開催

開催日	議 案
平成 30 年 6 月 26 日	平成 29 年度事業報告書について 平成 29 年度決算書について
平成 31 年 3 月 29 日	平成 31 年度事業計画書について 平成 31 年度資金収支予算書について 役員等の報酬に関する規程の一部改正について

2 監査等

内 容	実施日	対象事業所等	結果(通知)
平成 30 年度社会福祉法人等指導監査(老人福祉法 18 条の規定)	平成 30 年 7 月 31 日	特別養護老人ホーム鶴寿園(従来型・ユニット型)	概ね適正に運営されているものと認められました。なお、今後も適切な運営にご尽力ください。
介護保険指定居宅サービス事業者等への実施指導(介護保険法第 24 条の規定)	平成 30 年 7 月 31 日	特別養護老人ホーム鶴寿園(従来型・ユニット型) ショートステイ鶴寿園(従来型・ユニット型) 野田みどり会訪問介護事業所 デイサービスセンター鶴受援	概ね適正に運営されているものと認められました。 なお、今後も適切な運営にご尽力ください。
平成 30 年度社会福祉法人指導監査(社会福祉法 56 条及び野田市社会福祉法人指導監査実施要綱)	平成 30 年 7 月 31 日	社会福祉法人野田みどり会	概ね適正に運営されているものと認められました。なお、今後も適切な運営にご尽力ください。
監事監査	平成 30 年 6 月 1 日	法人全事業所	事業報告等監査結果 法人の状況を正しく示している。定款に違反する重大な事実は認められません。 計算関係書類及び財産目録 法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

3 人事関係調書

総職員数	正職員	嘱託・非常勤職員	計
平成30年度	142人	112人	254人
平成29年度	138人	108人	246人

(平成31年3月31日)

採用関係	正職員	嘱託・非常勤職員	計
平成30年度	13人	16人	29人
平成29年度	11人	18人	29人

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

退職関係	正職員	退職者平均勤続年数	嘱託・非常勤職員	退職者平均勤続年数	計	退職者平均勤続年数
平成30年度	14人	4年8か月	15人	4年8か月	29人	5年1か月
平成29年度	14人	3年1か月	13人	2年9か月	27人	2年11か月

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

離職率	正職員	嘱託・非常勤職員	計
平成30年度	9.9%	13.4%	11.4%
平成29年度	10.1%	12.0%	11.0%

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

	男性				女性				計			
	正職員	嘱託	非常勤	計	正職員	嘱託	非常勤	計	正職員	嘱託	非常勤	計
職員数(人)												
平成30年度	63	3	22	88	79	3	84	116	142	6	106	254
平成29年度	61	2	21	84	77	2	83	162	138	4	104	246
年齢(歳)				平均				平均				平均
平成30年度	37.6	69.0	68.1	46.3	40.1	64.7	53.5	47.3	39.0	66.8	56.6	47.0
平成29年度	36.4	63.0	67.7	45.5	39.6	66.0	52.2	46.1	38.2	69.0	55.4	46.0

(平成31年3月31日)

勤続年数	正職員	嘱託	非常勤職員	平均
平成30年度	8年8か月	11年9か月	5年8か月	7年6か月
平成29年度	8年2か月	15年5か月	5年9か月	7年1か月

(平成31年3月31日)

II 特別養護老人ホーム鶴寿園 (従来型・ユニット型) (ショートステイを含む。)

(1) 取組内容

【ユニット型】

ア ヒヤリ/ハット報告を基に、事故防止策を助言、提案し事故防止に繋がられた。機能訓練士と車椅子や歩行器等の選定を行い、安全に移動できるような物品を検討したり、自ら移乗される方(立位不安定)に対して、所在確認の為にセンサーを設置したことで、ベッド・車椅子からの転落を予防できた。また超低床ベッドを導入し、事故防止に繋がられた。

イ 肺炎の診断があった利用者様4人詳細

- ① 全身状態低下、嚥下機能低下による誤嚥性肺炎(1人・通院して改善したが、その後救急搬送され退所されている。)
- ② むせ込み等見られずに不顕性誤嚥性肺炎(2人・1人入院、1人通院にて改善)
- ③ 脳梗塞による片麻痺の方が嘔吐後誤嚥性肺炎(1人・入院後改善)の発症

ウ 利用前調査時に医務の同行を求め、利用にあたっての課題について検討を行ったことで、胃瘻・食道瘻、インスリン接種(1日/1回)、膀胱内留置カテーテル挿入者等を受け入れることができた。

エ【平成30年度 研修実績】

- ① ユニット型内部研修21回
- ② 法人研修委員会18回
- ③ 危機管理運営委員会5回

オ 退院後の利用者様で食事形態をAからB、米飯からお粥に落とし対応していた利用者様がいたが、体力の低下や酸素の導入もあり、食事摂取量の低下、意欲が低下してしまった。「ご飯が良い」と本人の希望もあり、リスクはあるものの多職種、ご家族様とカンファレンスを行い、お粥から米飯に変更することができ、本人のニーズに寄り添う事で少し前向きに本人が生活できる結果に繋がった。

カ ご家族様に現状・病状等の説明を頻回に行い、ご家族様の理解のもと、嘱託医師と連携を図り、看取り(13人)の実践ができた。

【従来型】

ア 事故記録に対する対策案を立案・検討する意識は上がっているが、毎月の事故報告件数に対して、ヒヤリ/ハット報告件数が少ない為、職員個々の危険予知能力、ヒヤリ/ハットに対する意識を上げていく中で、未然に防げる事故もあるのではと考える。

また、ケア中(ケアミス)における事故(アザや表皮剥離等)報告が多い。職員の技量によるものも考えられるが、大人数のケア中で、一人一人に対するケアの質が低下してしまっている事も考えられる。

個別ケアに移行する中で業務改善を行い、一人一人とゆっくり関われる、ゆとりを持てるケアができるようにしていきたい。

イ ケアカンファレンスを行い、状態変化のある利用者様に対して、他職種で検討し食事形態の選定を行った。

また、円背がある利用者様に対して、適正な座位保持を検討し、その中で車椅子の選定・購入を行った。

ウ インスリン接種者（1回/日）・バルーン留置・膀胱瘻の方の受入れについて検討し、嘱託医師の協力・理解のもと医療ニーズのある方の受入れ幅を広げることができた。

エ 毎朝、申し送りを実施し、介護・看護・介護支援専門員が集まり、利用者様の状況・状態を共有できるような仕組みとした。

通年、利用者様全員の検温を実施し、介護・看護と連携しながら感染症対策に取り組むことができた。

オ 利用者様、一人一人に対して要望を聞き出し、生活の中で楽しみが持てるように外出などの個別起案や誕生日会等、月毎の行事起案に取り組むことができた。全体行事として、クリスマス会など立案し余暇として提供することができた。

楽しみが持てるように、居室担当が中心となって食べたい物や、やりたい事などの聞き取りを行い外食起案・調理レク・出前などの提供を行った。

カ ご本人、看取り介護：3人

生活面として、主の希望を率先して行うよう努めた。

看取り後、カンファレンスを実施し、看取りケアにかかわった職員の精神的負担感を緩和すること、自らのケアを振り返って自己点検し、次のケアへの原動力にすることができた。

利用者様担当が中心となって利用者様に食べたい物や行きたい所などの聞き取りを行い、多職種と連携を図りながらその人らしく過ごして頂けるケアをこれからも目指していきたい。

(2) 数値計画

特別養護老人ホーム鶴寿園	従来型		ユニット型	
	特養	ショート	特養	ショート
定員	54人	16人	90人	10人
H30年度目標平均入居者数(1日)	53.0人	14.5人	88.0人	7.5人
H30年度実績平均入居者数(1日)	52.7人	11.7人	86.7人	7.6人
達成率	99.4%	80.7%	98.6%	101.9%
H29年度実績平均入居者数(1日)	51.3人	12.9人	86.3人	8.5人

II 複合老人ホーム 野田市楽寿園（養護老人ホーム・特別養護老人ホーム）

(1) 取組内容

ア 利用者様の意思が十分に尊重されたケアプランをケアの基本とし、より楽しみのある生活となるよう、季節ごとに様々な行事を行いました。特に9月実施した交歓会では、ご家族様や来賓の方が50人以上参加され、利用者様の方との食事を楽しまれました。

イ 特養が14床分増床となり、年間で19人が新規利用されました。（退去者は5人）職員不足による利用の遅れや入院者の増加で、利用率は目標を下回りました。職員の増員により、普段からの情報共有や報連相を意識してチームケアの向上を図りましたが、職員の定着に課題が残りました。

ウ 地域に向けた取組として、東部小・中学校や公民館のペットボトルキャップの回収分別活動を行い、年間合計250kg（約107,500個）分を回収しました。また、東部小学校との交流会（年3回）や下校時の防犯パトロールを通じて、地域児童との交流を図りました。

(2) 数値計画

複合老人ホーム野田市楽寿園	特 養	養 護
定 員	29 人	41 人
H30 年度目標平均入居者数(1日)	27.3 人	30.0 人
H30 年度実績平均入居者数(1日)	21.6 人	30.7 人
達 成 率	79.3%	102.4%
H29 年度実績平均入居者数(1日)	14.3 人	30.5 人

※ 養護の老人ホームの目標平均利用者数は予算定員

※ 養護 55 人から 41 人 特養 15 人から 29 人定員の変更(H30)

Ⅲ 在宅サービス事業部

1 デイサービスセンター鶴寿園

(1) 取組内容

ア ケアプランから通所介護計画書にニーズを反映させることで、利用者様の要望に合ったサービス提供（入浴方法、機能訓練、排泄方法）を行うことができましたが、個別・小集団レクリエーションプログラム内容の検討や見直しを行うまでには至りませんでした。

イ 営業方法については、設定した月2回の訪問を実施しました。また、新たな営業ツールを作成し、各居宅介護支援事業所に配布することができました。

ウ サービス提供時に生じた情報等について、ご家族様や担当介護支援専門員へ迅速に連絡をするなど、安心して利用いただけるよう努めました。

特に、法人内サービスを複数利用している利用者様については、各サービスの利用状況等を担当者間で連携し、情報共有を図りました。

(2) 数値計画

デイサービスセンター鶴寿園	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
H30年度目標	30人	365日	23.5人
H30年度実績	30人	365日	21.7人
達成率			92.2%
H29年度実績	30人	365日	22.1人

2 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター

(1) 取組内容

ア ケアプランの目標が達成できる、通所介護計画書を作成し、デイサービスセンターでの取組を明確化させ、機能維持に努めました。下肢筋力強化が必要な方は、膝に負担がかからないように座ったままでもできる強化体操を実施しました。独居生活を継続したい利用者様には、記憶力、判断力維持のために、脳機能訓練らくしゅう式の実践において機能維持を図りました。機能評価は実施しましたが、機能の移り変わりをはっきり形にすることができず、介護支援専門員、ご家族様、利用者様への報告はできませんでした。

イ 営業活動として、居宅介護支援事業所への訪問を月2回行うことを設定していましたが、月次実績報告を年間約60%ファックスにて対応したことなどにより、予定訪問回数を達成することができませんでした。

ウ 地域活動については、北部川間地区地域包括支援センターの地域活動が休止状態となったため、実施には至りませんでした。10月以降、岩木小学校との交流会を9回実施しました。認知症サポーター養成講座については、岩木小学校からの要請がありましたが、職員体制が整わない状況が続いたため、実施には至りませんでした。

(2) 数値計画

野田市岩木小学校老人デイサービスセンター	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
H30年度目標	25人	308日	19.2人
H30年度実績	25人	308日	19.5人
達成率			101.4%
H29年度実績	25人	310日	19.6人

3 訪問介護事業所

(1) 取組内容

ア 利用者様の様子、体調変化、介護状況など担当ヘルパーからの情報を収集した際には、フリーメールサービスや「LINE」などのグループトークを活用し、職員との情報共有を図りました。

イ 利用者様の希望や心身の状態にあった適切なサービス提案などについては、担当介護支援専門員へ報告し、サービス改善につながるよう取り組みました。

ウ 平成31年2月には「お客様満足調査」を実施しました。また、お客様のご意見をもとに会議において全職員でサービスの見直しを行いました。さらに、定例会議では、業務等に関する課題や問題点を抽出し、業務内容の見直しを行いました。

(2) 数値計画

野田みどり会訪問介護事業所	定員	営業日	平均稼働時間(月)
H30年度目標	80人	365日	730時間
H30年度実績	80人	365日	708.3時間
達成率			97.0%
H29年度実績	80人	365日	737.5時間

4 居宅介護支援事業所

(1) 取組内容

- ア 利用者様が住み慣れた場所で生活を継続できるように、毎月の定期訪問やサービス事業所からの報告などで身体状況や精神状態に応じて必要なサービスの提案を行い、暮らしの継続ができるよう支援しました。その中でも個々の考え方や情報量だけでの提案にならないように、週に1回の事業所会議にて情報の共有や意見交換を行うことで多角的な視点での提案を行いました。
- イ 契約数は、年度当初、介護103人・予防27人の計130人でありましたが、9月末時点では、介護115人・予防26人の計141人、年度末では、介護129人・予防29人の計158人となりました。新規契約は、対前年比で21人増加しました。所属する各介護支援専門員の業務進捗状況を日々確認し、他社からの引継ぎケースや各地域包括支援センター並びに医療機関からの依頼に対して迅速かつスムーズな対応を行ったことで、サービス利用開始までの期間を短縮することができました。
- ウ 介護支援専門員としての資質向上の為、研修参加し研修内容を事業所会議内で共有して、個々のスキルアップを図りました。年間計20回の研修会に参加することができました。
- エ 介護保険法の改正並びに介護報酬改定がありましたが、事前に種々の情報収集を行ったことにより、利用者様・ご家族様に大きな混乱なく対応することができました。

(2) 数値計画

野田みどり会居宅介護支援事業所	定員	営業日	平均利用者数(1月)
H30年度目標	172人	256日	135人
H30年度実績	172人	256日	137.8人
達成率			102.1%
H29年度実績	172人	258日	120.0人

5 配食サービス事業

(1) 取組内容

ア 管理栄養士が作成する献立に基づき栄養バランスの取れた食事（弁当）を提供。利用者様個々の嗜好に合わせてメニューを変更するなど満足度の高いサービス提供に努めました。

イ 不在時や体調不良による緊急事態が生じた際には、担当職員のほか、担当介護支援専門員や行政機関等へ迅速に連絡するなど、適正に対応することができました。

(2) 数値計画

配食サービス	営業日数	平均利用者数(1日)
H30年度目標	365日	25.3人
H30年度実績	365日	22.5人
達成率		88.9%
H29年度実績	365日	23.6人

IV 障がいサービス事業部

1 野田市心身障がい者福祉作業所

(1) 取組内容

- ア ご家庭と一貫した支援ができるよう、支援計画に基づき、連絡帳や電話連絡を通じて、ご家族様と日々、連携と情報共有を行い、支援に努めてきました。日中活動における課題が生じている利用者様には、家庭訪問や面談を実施し、課題の解決に向けてのはたらきかけを行いました。
- イ 利用者数が増加し、34人の大所帯となった生活介護において、個人の能力に合わせてグループ分けを図り、グループごとにプログラムを設定して個人が自信をもてるよう支援を行いました。
- ウ 就労継続B型については、工賃向上のために、これまでの作業内容の評価に加え、月々の作業収入の多寡を反映させる積算方法を採用入れ、工賃収入からやりがいを感じられるよう心掛けました。月の収入の変動は、やや大きくなりましたが、作業での頑張りが工賃に反映されやすくなったことで、作業意欲の向上を図りました。

(2) 数値計画

野田市心身障がい者福祉作業所		生活介護事業所		就労支援B型事業所	
定員		H30年度	H29年度	H30年度	H29年度
		25人	23人	15人	15人
営業日数		241日	242日	241日	242日
目標平均利用者数(1日)		30.6人	27.0人	10.6人	11.1人
実績平均利用者数(1日)		29.0人	25.9人	10.6人	11.1人
達成率		94.7%	95.9%	100.0%	100.0%
		H30年度		H29年度	
目標年間作業 収入年間(全体)	目標	2,560千円		2,482千円	
	実績	2,063千円		2,452千円	
	達成率	80.6%		98.8%	
1人平均月額工賃 (就労支援B型)	目標	8,500円以上		8,000円以上	
	実績	8,054円		8,157円	
	達成率	94.8%		102.0%	

※ 生活介護23人から25人定員の変更(H30)

※ 定員の125%の利用可

2 障がい者グループホーム 中根の家

(1) 取組内容

ア 土日の営業に関して、年度半ばから、それまでの月1回から年中無休ができる体制が整い、週末の利用促進を図りました。

イ 作業所利用者への空床型短期入所の利用促進を働きかけ、そこから入居への移行を図りましたが、一時的に短期入所の利用が増加したものの、継続的な利用の定着には繋げることができませんでした。

ウ 年度終盤で長期入居者の退居もあり、年度を通じて、長期入所の空床を埋めるに至らず、中重度の利用者の受入体制の確保が先行した結果、収支状況の悪化を招いてしまいました。このことから、新年度に向け、地域の相談支援員への働きかけを通じて、作業所以外の利用者の受入れも行っていくこととし、空床状態を無くすことを最優先に収支改善に取り組んでいます。

(2) 数値計画

障がい者グループホーム 中根の家	定員	長期入所	短期入所	日中一時支援
H30年度目標	4人	2.1人	1.0人	0.6人
H30年度実績	4人	1.4人	0.11人	0.4人
達成率		67.8%	11.0%	75.3%
H29年度実績	4人	1.2人	0.14人	1.0人

3 野田市立あおい空

(1) 取組内容

ア 年度末に満足度調査と意向調査を行い、利用者様とご家族様からの希望に沿った個別支援計画を作成しました。計画とともに、利用者様の状況に合わせた支援、また相談に応じることで満足度の高い評価をいただきました。

イ 機能訓練では、研修会参加や理学療法士、作業療法士からの指導を仰ぎ、毎日の活動に活かしました。

ウ 日中一時、短期入所ともに稼働率が40%以上上がりました。

(2) 数値計画

野田市立あおい空	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
H30年度目標	20人	228日	12人
H30年度実績	20人	228日	12.4人
達成率	102.9%		
H29年度実績	20人	228日	10.6人
サービス	日中一時		短期入所
定員	4人		3人
営業日	H30年度	270日	137日
	H29年度	271日	139日
	増減	1日	2日
利用者延人数	H30年度	710人	245人
	H29年度	511人	202人
	前年比	138.9%	121.3%
1日当り平均人数	H30年度	2.6人	1.8人
	H29年度	1.9人	1.5人
	前年比	136.8%	120.0%